

2021 Business Report

第20期ビジネスレポート
2020年4月1日 > 2021年3月31日



ゲーム事業における着実な収益の積み上げと、 新規事業開発への投資を促進し、 総合エンターテインメント企業を 目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに「第20期ビジネスレポート」をお届けいたします。

当期は、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済状況の不安定さが目立つ一年でしたが、運用中タイトルが想定を上回る水準で好調に推移したほか、不採算タイトルへの対応も着実に進み、主力のコンテンツ事業の収益性が一層向上した結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期



代表取締役社長 内藤裕紀

純利益のいずれも創業来最高となるなど、着実な成長を確認できた一年となりました。

コンテンツ事業以外でも、音楽領域での新たな取り組みである「AKROGLAM」、ゲームタイトルの運用・開発で培ったノウハウを活用した「負荷テストサービス」、twitter上でのプロモーション支援サービス「Rooot」がローンチするなど、新たな事業領域での事業開拓が進み、将来への投資の成果が結実を始めた一年でもありました。

ゲーム事業

当事業セグメントはゲームの開発・運営が主要事業となっており、他社IPゲーム及びゲームプラットフォーム並びにオリジナルIPゲームの開発・運営を行っております。

他社IPゲームにつきましては、当期をつうじていずれのタイトルも安定的にユーザーの支持を集め、順調な推移を維持しました。オリジナルゲームにつきましても、配信開始から10年を迎える長期運用タイトル、及び前期末に譲受したタイトル「ぼくとドラゴン」を中心に売上水準を維持し、安定的に業績寄与しました。運用タイトルの増加、及び運用中タイトルの順調な推移を受け、売上高は前



年同期比で増加いたしました。利益につきましては、昨年より注力している不採算タイトルへの対応が一層進んだほか、運用効率化及び足元の経済情勢に鑑みた費用抑制の影響もあり、費用が前年同期比で減少した結果、営業利益は前年同期比で増加いたしました。

2022年3月期におきましては、残る不採算タイトルの収益性の改善に注力するほか、下期にリリースを予定している複数の新作タイトルの確実なヒットをつつじ、売上・利益の両面での拡大を目指してまいります。

メディア事業

メディア事業では、次世代の主力事業創出を目的とした取り組みの一環である『DRIP (Drecom Invention Project)』のもと、2018年8月に発表した位置情報と3DリアルマップによるARスマートフォンアプリ構築プラットフォーム『AROW』等、当社の有するインターネットサービスの知見を活かした新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねました。2020年9月には音楽領域での新たな試みである『AKROGLAM』、2021年1月にはtwitterを活用したマーケティングサービス『Rooot』や当社が過去大規模サービスの開発・運用から培ったノウハウを活かした「負荷テストサービス」をローンチするなど、開発を進めていた複数のサービスの提供が開始されております。当事業では、今後も先進的かつ将来性のある領域で、当社の優位性を活かした事業の創出に向け取り組みを進めてまい

ります。

京都大学の学生だった私が2001年に設立した当社は、2021年11月で創業20年を迎えます。創業当時の主力事業であったブログサービスから、現在の主力事業であるソーシャルゲーム事業まで、時流の変化にあわせて提供するサービスは大きく変化してきましたが、どのサービス・事業も創業以来の当社のアイデンティティである「with entertainment～期待を超える」を体現した「ドリコムらしさ」の溢れるサービスであったと自負しております。新たな技術の応用、普及が進み、世界が一層劇的な変化を遂げるこれからの時代において、引き続き「with entertainment～期待を超える」の精神を大切に、世の中の変化を担い、世の中に驚きと喜び、そして幸せを届けるサービス・事業の創出に向けて邁進してまいります。今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



収益性の向上と同時に将来への種まきも進展

ゲーム

- 開発・運用共に、好調に進展。収益性の向上や、新規事業への投資も進み、23年4月をゴールとする中期指針のもと、事業運営・開発が進む
- IPゲームの経年を感じさせない好調な推移に、IPの強さを改めて認識。IPの活用ノウハウを自社の強みとするべく、ファンコミュニティの開拓や、IPのクロス展開等、IPビジネスノウハウの深化に注力
- 『ぼくとドラゴン』、『ちょこっとファーム』など自社配信タイトルも好調な推移を維持。『ちょこっとファーム』は10周年のロングランタイトルに。最適化が進んだ運用体制はドリコムが強みであると再認識
- 20年10月からBlasTrainがグループに加わり、ドリコムズは一層拡大。ドリコムの関与による共同運用タイトルの安定化や業績の拡大、BlasTrainの有する開発・運用ノウハウのグループ内での展開等、グループ一体となつての成長を志向

新規事業開発

- 『AROW』の事業化の他、『AROW』を用いて開発する人気IPを扱った位置情報タイトルの開発も進展
- 『AKROGLAM』は20年9月のローンチ以降、順調にサービスが拡大。音楽領域での事業開発も進展
- 「負荷テストサービス」と『Rooot』をリリース。SaaS収益拡大を志向

本開発タイトルは9タイトルに。 21年4月末時点で計12の開発プロジェクトが進行中

| 事業 | ステータス | 定義 | プロジェクト数 (()は海外配信タイトル数) | 詳細 | |
|----------------|-------|-----------------------|---------------------------|--|---|
| ゲーム 事業 | 運用 | 運用中のタイトル | 11 [*] (4) | <ul style="list-style-type: none"> 他社配信：8タイトル[*] 自社配信：3タイトル | |
| | 開発 | 本開発 | リリースを視野に 開発が進むタイトル | 9(4) | <ul style="list-style-type: none"> 他社配信： <ul style="list-style-type: none"> 新日本プロレスSTRONG SPIRITS (海外配信) D_CIDE TRAUMEREI (海外配信未定) Derby Stallion: Masters (海外配信) 国内ヒットIPタイトル海外版 (海外配信) 自社配信： <ul style="list-style-type: none"> Wizardry VA (仮) (海外配信) 未発表： <ul style="list-style-type: none"> AROWを用いて開発する人気IPを扱った位置情報ゲームタイトル (海外配信未定) 未発表タイトル×3本 (海外配信未定) |
| | | プロトタイプ | 本開発以前の 開発段階にある タイトル | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 悪魔王子と操り人形 グループ会社スタジオレックスが開発を手掛けるオリジナルタイトル 未発表タイトル×1本 |
| 新規 事業 開発 | 運用 | 運用中のサービス | 3 | <ul style="list-style-type: none"> AKROGLAM 負荷テストサービス Root | |
| | 開発 | リリースを視野に 開発が進むサービス | 1 | <ul style="list-style-type: none"> 音楽領域での新規サービス | |

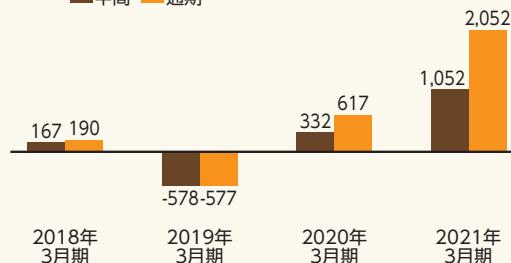
※21年4月末時点の運用タイトル数。シリーズタイトルについては1タイトルとして集計

連結財務ハイライト

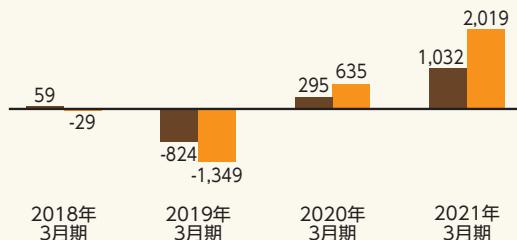
(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期

売上高 **11,840**百万円

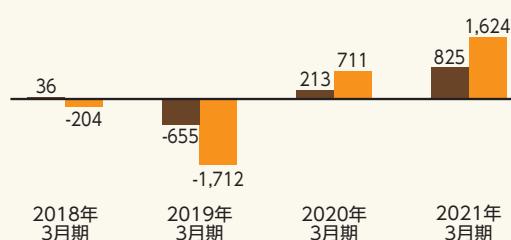
(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期

営業利益 **2,052**百万円

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期

経常利益 **2,019**百万円

(単位：百万円) ■ 中間 ■ 通期

親会社株主に帰属する
当期純利益 **1,624**百万円

当連結会計年度におきましては、主力のゲーム事業で、引き続きIPゲームタイトルを中心に運用中タイトルが順調に推移しました。20年3月末に譲受したオリジナルタイトル「ぼくとドラゴン」につきましても、運用チームの移行が順調に進み、またグループ一体となつての運用効率に向けた取り組みも功を奏し、引き続き安定的に収益寄与いたしました。同時に、不採算タイトルへの対応も着実に進み、ほぼ全タイトルが安定的に利益を計上する状態になり、主力のゲーム事業の収益性は一層向上、事業の安定性も増しております。

ゲーム事業以外では、次世代の主力事業創出を目的とした取り組みの一環である『DRIP (Drecom Invention Project)』のもと、2018年8月に発表した位置情報と3DリアルマップによるARスマートフォンアプリ構築プラットフォーム『AROW』等、当社の有するインターネットサービスの知見を活かした新規サービスを試験的に立ち上げ、事業化に向けた試行を重ねました。9月には音楽領域での新たな試みである『AKROGLAM』やtwitterを活用したマーケティングサービス『Rooot』、当社が過去大規模サービスの開発・運用から培ったノウハウを活かした「負荷テストサービス」をローンチするなど、開発を進めていた複数のサービスの提供が開始されております。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は11,840,739千円（前期比16.7%増）、営業利益は2,052,865千円（前期比232.7%増）、経常利益は2,019,231千円（前期比217.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,624,683千円（前期比128.4%増）となりました。

会社情報 / 株式情報 (2021年3月31日現在)

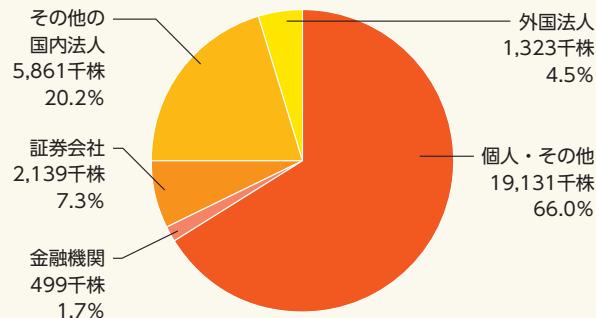
会社概要

商号 株式会社ドリコム
 本社所在地 〒153-0064
 東京都目黒区下目黒1丁目8番1号
 アルコタワー17階
 設立 2001年11月13日
 資本金 1,761百万円
 代表取締役社長 内藤裕紀
 従業員数 384名 (連結)
 主な事業内容 モバイル/PC向けコンテンツの企画・
 提供、コンテンツ事業者に対する広告
 サービス提供、広告収益型メディアの開
 発・提供
 連結子会社 株式会社ドリアップ
 株式会社スタジオレックス
 株式会社BlasTrain

株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 28,976,700株
 株主数 9,171名

所有者別株式数



役員 (2021年6月25日現在)

| | |
|----------------|------|
| 代表取締役社長 | 内藤裕紀 |
| 取締役 | 後藤英紀 |
| 取締役 監査等委員 (常勤) | 青木理恵 |
| 取締役 監査等委員 | 村田雅夫 |
| 取締役 監査等委員 | 清水勝彦 |

(注) 青木理恵氏、村田雅夫氏、清水勝彦氏は社外取締役であります。

大株主 (上位10名)

| 株主名 | 持株数 (株) | 持株比率 (%) |
|---|-----------|----------|
| 内藤裕紀 | 9,930,000 | 34.29 |
| 株式会社バンダイナムコホールディングス | 5,532,000 | 19.10 |
| 楽天証券株式会社 | 711,900 | 2.45 |
| 山口憲一 | 494,300 | 1.70 |
| 株式会社SBI証券 | 459,371 | 1.58 |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託E口) | 407,300 | 1.40 |
| 廣田証券株式会社 | 380,182 | 1.31 |
| 株式会社モバテック | 233,500 | 0.80 |
| THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040 | 217,400 | 0.75 |
| DAIWA CM SINGAPORE LTD - NOMINEE YOHEI INOUE | 190,000 | 0.65 |

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ
公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(郵便物送付先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031
(受付時間 土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)

(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<https://www.drecom.co.jp/ir/kessan/>
上場証券取引所 東証マザーズ



ホームページのご案内

当社webサイトをリニューアルしました。最新ニュースや様々な情報を発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.drecom.co.jp/>

TOPページ



<https://www.drecom.co.jp/ir/>

IRページ

